

大阪市立



南市岡小学校

所在地 〒552-0011 港区南市岡2丁目6番35号

TEL 06-6582-0390

FAX 06-6582-0197

校長名 木村 幹彦 (きむら みきひこ)



学校の紹介・校長メッセージ

南市岡小学校は、港区と西区が接するところに位置し、東は境川、西は国道43号線、南は尻無川、北はみなと通に囲まれた地域が校区となっています。昭和30年～40年代には17学級～19学級で児童数600～700人の規模がありましたが、平成6年以降は、各学年1学級の小規模な学校で統合・廃校の対象校となっていました。しかし、学校選択制の実施や校区の変更(平成27年度より3年間の調整期間を経て、平成30年度より南市岡3丁目が南市岡小学校校区となる。)により、令和元年度は269人(9

学級)となり、令和2年度は288人(10学級)の規模で11月1日に創立90周年を迎え、令和3年度は297人(10学級)となりました。そのため、平成29年度に新校舎を建設し、新たに7教室を確保しました。令和4年5月には、長寿化工事により、講堂・プールが新しくなりました。100人規模の学校から一挙に約3倍規模の学校へと移行することを念頭に置き、教育活動や学校行事等を見直し、よき伝統を残しながら新しい南市岡小学校を創っていかねばならないと考えています。

学校教育目標

明るくしんのある子どもに育てる

めざす学校像

子どもが楽しく学び、のびのびと活動できる学校
子どもが互いに認め合い、ともに伸びていく学校
保護者や地域と連携し、互いに信頼し合える学校

めざす子ども像

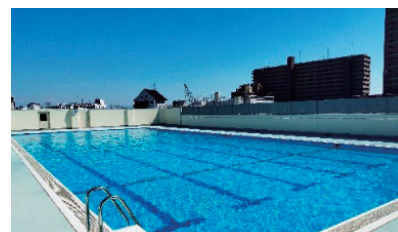
助け合える子ども
はっきり言える子ども
ねばり強い子ども



<講堂外観>



<講堂フロア>



<屋上プール>

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

[学校の年度目標]

- いじめ対策委員会及び生活指導連絡会を月一回以上実施し、児童の実態把握に努める。
- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

[学校の年度目標]

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付

いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(昨年度80%)

- 年間に2回以上体力づくり週間に取り組み、学校アンケートの「運動をすることが好きだ。」に対する肯定的な回答86.7%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

[学校の年度目標]

- 小学校学力経年調査における「学習端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(昨年度84.8%)

●令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		
国語	算数	理科
61	54	54

〈分析から見てきた
成果・課題〉

〔国語〕「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」

「書くこと」「読むこと」の全ての内容において、平均正答率で全国平均、大阪市平均を下回っており、課題が見られた。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容においては、平均正答率で全国平均、大阪市平均とともに7.1ポイント下回っており、大きな課題が見られた。しかし、過去と比較すると3ポイントアップしていた。「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容における平均正答率の全国平均、大阪市平均との差は、いずれも3ポイント未満であり、基本的な言語事項の習得に関しては、本校国語科研究の取り組みの成果が一定出ていると考える。

〔算数〕「データの活用」の領域において、平均正答率で大阪市平均を0.4ポイント上回ったが、それ以外の領域では、平均正答率で全国平均、大阪市平均を下回っており、課題が見られた。少人数指導による個に応じたきめ細かな指導を継続していく必要がある。

〈今後の取組〉

国語科、算数科の学習においては、児童の実態に応じて学習指導形態の工夫や個に応じた指導の工夫を継続していく。特に課題の見られた国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容においては、本校国語科研究の推進とともに「話す」活動、「聞く」活動、「書く」活動の場を確保した取り組みとともに問題解決学習を推進し、中央図書館とも連携し、学力向上を図っていく。また、「家庭学習力アンケート」の取り組みを通して家庭との連携を図りながら、家庭での学習習慣が身につくよう働きかけていく。

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	15.18	22.06	33.72	38.60	48.35	9.20	153.24	22.27	54.33
女子	14.65	17.31	37.00	34.69	40.16	9.64	133.38	14.12	52.48

今年度は、体力づくり週間や児童が運動する時間と場の確保に継続して努めてきた結果、アンケートの「運動をすることが好きだ」に対して最も肯定的に回答する児童の割合が、男子100%、女子86.9%となり、大阪市平均を上回っている。日頃から児童が運動やスポーツに親しんだり、関心をもったりして、「運動の日常化・習慣化」が図られている。今後も継続させていくとともに、運動場の開放を積極的におこない、運動の楽しさを感じる機会を多くつくっていく。また、トップアスリート事業に積極的に参加し、さまざまな一流アスリートを講師に招いて、運動に親しむ児童を育成していく。

〈自校の取組の成果や課題〉

学校全体での取り組み(なわとび・かけ足)を実施し、運動が苦手な児童においてもしっかり体を動かす機会を増やすようにした結果、運動意欲の向上が見られた。また、それぞれの取組

みの中で、カードを活用することで、いつも以上に活発に体を動かす児童が多くなった。さらに、休み時間のボール使用可能時間を工夫したり、始業前・放課後の校庭開放の方法を工夫したりすることで、児童が運動する時間や場の確保にも継続して努めてきた。その結果、学校アンケートの「運動をすることが好きだ」に対する最も肯定的な回答は平均93.5%となり、学校の年度目標を達成することができた。今後は、各学年の体育学習の取り組み等を共有し、運動が苦手な児童も自信をもって楽しんで活動できるように授業づくりを行うようにする。また、その際、運動が苦手な児童でも、自分のペースでカードやワークシート等を使用し、目標を設定して取り組めるような工夫を行うようにする。そして、校庭開放等の運動する環境(時間や場)をさらに整えたり、工夫したりすることで、日々の運動量の確保をしていく。

1年間の主な行事

4月	入学式 始業式 対面式 学習参観 希望制懇談
5月	校外学習 修学旅行鳥羽方面(6年) 新体力テスト
6月	プール・水泳開始 自然体験学習鉢伏方面(5年) ふれあいフェスティバル 土曜参観(引き渡し訓練)
7月	期末懇談会 終業式
8月	始業式 避難訓練(台風)
9月	食の学習 学習参観
10月	運動会 校外学習 劇鑑賞会あるいは音楽鑑賞会 (隔年実施 今年度は音楽鑑賞会)
11月	作品展あるいは学習発表会 (隔年実施 今年度は作品展)
12月	期末懇談会 終業式
1月	始業式 避難訓練(地震)
2月	防災教育 新1年生入学準備会
3月	卒業を祝う会 卒業式 修了式

現在、南市岡小学校では、学校生活の様子や様々な行事などをホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。
「南市岡小学校」と入力し、検索すると、すぐにホームページが閲覧できます。



遠足(4年) 鶴見緑地



修学旅行(6年) 鳥羽方面



ふれあいフェスティバル(児童会)



図書館教育